

みなみそうま



市議会だより

令和8年
8月1日発行

Vol.82

発行：南相馬市議会 編集：広報特別委員会 ☎24-5311



『創造力を技術に、
ロボットで未来を切り拓く』

(福島県立小高産業技術高等学校)

【目次】

常任委員会広聴……………	2頁
6月定例会議案とその結果 議員表彰 ……	3～4頁
個人情報保護制度による公開等実施状況 ……	4頁
請願、陳情、委員会・議員提出議案・ 3ヶ月間の議会活動 ……	5頁
賛否が分かれた議案……………	6～7頁
一般質問……………	8～14頁
政務活動費精算一覧表……………	14頁
常任委員会閉会中調査・先進地行政視察報告 ……	15頁
次回定例会の日程・議会傍聴記・編集後記 ……	16頁

包括支援センター職員との意見交換会

4月17日

原町東包括支援センター

高齢者の1人暮らし、高齢者2人暮らし、認知症の方、身内がいけない方、いても絶縁状態や遠方でご家族の協力が得られない方が増えており、そこに時間を費やすことが多くなっています。急に体調が悪くなつて病院受診が必要なときに付き添う家族がいなくて職員が付き添ったり、救急搬送に付き添う家族がいなくて、入院になるまで病院で待つことも。認知症で金銭管理や契約行為もできず、家族もおらず施設入所や入院、転院がスムーズに進まないケースが増えていきます。

原町西包括支援センター

軽度の要支援者が認定を受けてサービスをご利用することがかなり増えていきます。通いの場がない、ちよつとした買い物やお掃除がで

きない方は、介護保険に頼らざるを得ない。もう少し地域で賄えるようになるとういと感じています。いろんな方のご相談を受ける窓口として地域の方にどんな周知をして、包括支援センターがいろんな地域にあることを皆さんに知っていただきたい。

小高包括支援センター

どうしても送迎の範囲で、サービスが利用できにくくなっている方がいます。あとはどうしても通院とか買い物で区をまたいで原町区や鹿島区に行かなくてはならないので、足の問題が大きな課題と感じています。

鹿島包括支援センター

鹿島には「みなタク」がありますが、民間タクシーが1社しかない。そのタクシー会社もドライバーが2名ぐらいしかいない。そうすると、後期高齢者を過ぎると免許返納の問題におち当たります。運転免許がなくなったら介護保険申請して、そこに通わせればい

のかという問題ではないと常に思いながら支援している。



〔写真右より〕

鹿島地域包括支援センター

木野田 広美さん

小高地域包括支援センター

平瀬 朱美さん

原町西地域包括支援センター

鈴木 健二さん

原町東地域包括支援センター

平田 優子さん

文教福祉



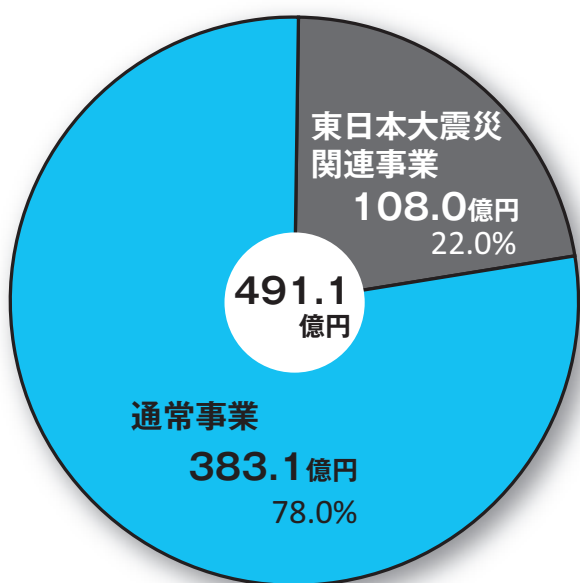
問：それぞれの支援センターで抱えている問題は。

令和8年 6月定例会

6月定例会は6月8日（月）から29日（月）までの22日間開催され、市長から提出された条例4件、予算2件、人事1件、その他5件の議案12件及び報告10件を審議し、いずれも原案のとおり可決・同意・承認しました。また、請願1件、陳情1件を採択とし、委員会提出議案3件を原案のとおり可決しました。

令和8年度 一般会計補正予算の概要

南相馬市第三次総合計画「7つの政策の柱」に基づく対応として、国県補助金の交付決定等があった事業などの補正を行った。



一般会計補正予算額

1億5,991万円

令和8年度一般会計予算総額

491億1,450万円

予算

一般会計

歳出

鹿島駅駅舎利用施設整備事業
2千147万円

【事業内容】

鹿島駅の駅舎について、駅利用者の利便性及び鹿島区の活力を向上させる拠点とするため、新たな機能を導入し地域住民が活用する施設として整備する。

質疑

鹿島駅駅舎利用施設整備事業の全体事業費と鹿島駅駐車場を含む駅前周辺整備について伺う。

【答弁】

令和7年度の整備計画策定に当たり、その時点での概算費用として、調査・設計管理費や工事費、備品購入費を合わせ、約1.8億円という全体事業費を想定した。

ただ、当該全体事業費については、今後、物価上昇等の影響を受けることが予想されるので、上限をどの

ぐらいの費用で収めることができるのかを、当該基本設計、実施設計の中で詰めていきたい。

駅前広場や駐車場は、当該全体事業費をベースにどうあるべきか検討する。

市内遺跡発掘調査事業
1千571万円

【事業内容】

埋蔵文化財の適切な保護を図るため、市内各種開発に係る試掘調査を実施する。

質疑

試掘調査の基準面積は1千平方メートル当たり10平方メートル位なのか伺う。

【答弁】

対象面積に対して10％程度で試掘調査をするが、場所の関係で重機が入れない場合、基準より少ない面積になる。

質疑

試掘の結果、重要な遺跡が出た場合の対応について伺う。

【答弁】

今回の調査で古代の製鉄炉であるとか、木炭窯等が確認された場合、基本的には要保存になる。

出来るだけ早い段階で、

開発側と協議をして、計画を変更するか、記録保存するか、もしくは遺跡が壊れないように盛り土するようになる。

新規就農者育成総合対策事業補助金

496万円

【事業内容】

農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、次世代を担う農業者となることを志す者に対し、補助金を交付する。

質疑

令和7年度に申請した方が今回も申請しており、重複して申請しているのではないのか。

答弁

この新規就農者育成総合対策事業補助金は3段階の補助メニューで構成されており、令和7年度に経営開始資金という2段階目の補助金を申請した方が、今回経営発展支援事業という3段階目の補助金を申請する予定である。

質疑

49歳以下という新規就農者の補助年齢要件を引き上げられないのか。

答弁

この補助金は、支

援対象者が49歳以下と国の制度設計で定められている。原案の通り可決。

条例

国民健康保険税条例の一部改正

【主な内容】

国の法改正に伴う令和8年度国民健康保険税率に係る課税額の税率について、必要な改正を行うもの。

質疑

令和11年度標準保険料率の統一に向け、負担抑制する取組について。

答弁

南相馬市の水準は、これまで基金を投入し、あん分率の上昇抑制に努めてきたことで、低い水準となっている。令和11年度に向けては、まず県内59市町村の意向、そして県も令和11年度に向け、令和8年度と同様に基金を逐次投入し、その納付金の上昇抑制、あん分率の上昇抑制に努めていく。また、県の動き、さらには、政府経済財政諮問会議にて、政府の方

針などで、現政権では現役世代の保険料、その上昇を止め、引き下げていくという方針なども示されていることから、国の取組なども注視し進めていきたい。原案の通り可決。

介護保険条例の一部を改正する条例制定

【主な内容】

令和7年度税制改正において、最低保障額の見直しにより保険料収入の減収を防ぐ特例措置が講じられたことに伴い、市民税が非課税であっても令和8年度分の介護保険料が課税となる場合の減免の特例について、必要な改正を行うもの。

質疑

影響を受ける人数と金額について伺う。

答弁

特例減免における対象人数は約20名、影響額としては70万円弱となる。

質疑

この問題についてどのように考えていくのかと言うことが私達に課せられた課題だと思うが、考えがあれば示して欲しい。

答弁

約20名、70万円弱

と言うのは自治体の裁量として決定出来るものである。ただし、国の制度によらないものに付いても介護保険料を決定する計画を今年度策定予定であることから、実際に市民がおかれていた状況を最大限考慮し、保険料の算定について検討していく。原案の通り可決。

人事

固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて

猪狩 忠信（原町区 新任）
原案に同意。

個人情報保護制度による公開等実施状況

南相馬市議会の個人情報の保護に関する条例に基づき、令和7年度の開示請求件数を公表します。

開示請求件数：0件

南相馬市議会議員の請負状況

南相馬市議会議員の請負の状況の公表に関する条例に基づき、令和7年度の請負状況を公表します。

請負件数：0件

全国市議会議長会 議員表彰



請 願

第4号

地方財政の充実・強化を
求める意見書提出の請願

【請願内容】

2027年度政府予算、
地方財政の検討にあたり、
現行の地方一般財源水準確
保より積極的に踏み出し、
社会全体として求められて
いる賃上げ基調にも相応す
る人件費の確保を含めた地
方財政の実現を求めるもの。

【請願者氏名】

日本労働組合総連合会福
島県連合会 原町地区連合
議長 野本 侑希

採択。

陳 情

第1号

国の「被災児童生徒就学
支援等事業」の継続と、被
災児童生徒の十分な就学支
援を求める意見書の提出の
陳情

【陳情内容】

「被災児童生徒就学支援

等事業」を継続し、被災児
童生徒の就学支援に必要な
財政措置を行うよう求める
もの。

【陳情者氏名】

福島県教職員組合相馬支
部 書記長 菅野 哲朗
採択。

委員会提出議案

議会議務活動費の交付に関
する条例の一部を改正

【提案内容】

南相馬市議会議務活動費
の交付に関する条例におけ
る会派の定義について、文
言の整理を行うもの。

（改正前）

第2条 政務活動費は、会
派（所属議員が1人の場合
を含む。以下同じ。）に対
して交付する。

（改正後）

第2条 政務活動費は、会
派（会派に属さない議員を
含む。以下同じ。）に対し
て交付する。

【提出委員会】

議会運営委員会
原案の通り可決。

地方財政の充実・強化を求
める意見書の提出

【提案内容】

請願第4号が採択された
ことから、南相馬市議会と
して国会及び国に対して意
見書を提出するもの。

【提出委員会】

総務生活常任委員会
原案の通り可決。

被災児童生徒就学支援等事
業の継続及び被災児童生徒
の十分な就学支援を求める
意見書の提出

【提案内容】

陳情第1号が採択された
ことから、南相馬市議会と
して国に対して意見書を提
出するもの。

【提出委員会】

文教福祉常任委員会
原案の通り可決。

3月定例会後から6月定例会
までの議会活動について

令和8年 4月10日	広報特別委員会
4月14日	建設経済常任委員会閉会中調査活動 (将来宇宙輸送システム(株)、 Astrox(株)、LAND INSIGHT(株))
4月15日	広報特別委員会 総務生活常任委員会閉会中調査活動 (南相馬市消防・防災センターほか)
4月16日	広報特別委員会
4月17日	文教福祉常任委員会公聴
4月22日	議会運営委員会
5月13日 ～15日	建設経済常任委員会先進地行政視察 (富山県・石川県)
6月4日	議会運営委員会

※場所の表記がないものは、いずれも市役所

令和8年6月定例会で賛否が分かれた議案

議案第48号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

【議案の主な内容】

令和8年度の国民健康保険税の本算定結果、国民健康保険事業調整基金の残高等を踏まえ、基礎課税額の所得割額、均等割額、平等割額などについて、必要な改正を行うもの。

反対



郡 俊彦 議員

国保基金は震災前の1億円から運営が県に1本化される前までに、19億円になりました。

保険税を「政策的裁量」を加えて、30キロ圏外の納税者から、一世帯当たり、85万円多く集めた結果です。

議会が正しい答弁をひっくり返して、市長がそれを理由に、法律どおりとして正しくないままです。

賛成



表 信司 議員

基金の原資は、当時の納付者から集められたお金ではなく、国から交付された医療費増高分の剰余金であると認識している。この交付金によって市民が納付する国保税のあん分率が上昇するのを抑制しており、一部に還元するものではない。

この条例改正は今後の国保税運営に必要な改正であるため賛成する。

反対



渡部 一夫 議員

国保会計における過大な決算剰余金の発生は、市のあん分率据え置きによる課税、即ち市の過大な国保税課税によることから、そのことによって国の支援がない30キロ圏外の主に鹿島区の被保険者の方々は、本来負担しなくともよかった税負担を強いられたものであり、看過することができないことから、反対する。

賛成



志賀 稔宗 議員

税額の算定に当たり、応能と応益の賦課割合については国が示す50対50とするものが国保加入者の理解を得られると思う。

11年度からは県が保険者となつて運用されることからそこに向けて基金を当てながらなだらかに移行することは妥当であり賛成する。

賛否が分かれた議案

議案第52号 令和8年度一般会計補正予算

【議案の主な内容】

南相馬市第三次総合計画「7つの政策の柱」に基づく対応として、国県補助金の交付決定等があった事業など、緊急に対応すべき予算を計上するもの。

反対



郡 俊彦 議員

一、財政運営について、合併特例法が求める「詳細かつ具体的な」財政計画が作成されていない。

二、公共交通活性化について、素案が住民の意見を広く聞き議論する過程が無いままに進んでいて、費用対効果が疑問。

三、庁舎建設費の予算額と継続費総額が合わないほか、実施計画も事実上なしで、先が見えない。

賛成



表 信司 議員

今回の補正予算については、公共交通に関する計画策定や実証実験、医療体制を充実させるための寄附講座の開設など、市民の生活に関わる重要な補正予算となっている。

市民の生活安定のためにも必要な補正予算であることから、賛成する。

令和8年6月定例会で賛否が分かれた議案

議案第53号 令和8年度国民健康保険特別会計補正予算

【議案の主な内容】

議案第48号による令和8年度のあん分率を踏まえ、歳入では、国民健康保険税額や国・県支出金など、歳出では、一般医療給付費、後期高齢者支援金等分、介護納付金及び子ども・子育て支援納付金分などの予算を計上するもの。

反対



郡 俊彦 議員

県に一本化の制度改定前は、「政策的配慮で取り過ぎたお金」を基金に積んで、新制度の今、その基金を使って、「政策的配慮」で、国保税減税に回していることが、資料からも明瞭です。

納め過ぎた市民の立場はどうなるのでしょうか。可及的速やかに是正すべきと思います。

賛成



表 信司 議員

賛成の理由は、「議案第48号」とほぼ同じ理由であるが、改めて、国から医療費増嵩分として交付された交付金については、当時の納税者に対してもあん分率が上昇するのを抑制するためにも活用されており、基金を理由に反対するものではないことから、この補正予算に賛成する。

反対



渡部 一夫 議員

本年度について、市は、昨年度と比較し、応能割52%を50%に引下げ、高額所得層に配慮し、応益割48%を50%に引上げ、低中間所得層の税負担に厳しい賦課割合を選択したことになり、所得の少ない方により負担を増加させるので、議案第48号の反対討論の理由から本補正予算について反対する。

賛成



志賀 稔宗 議員

加入者負担はできるだけ軽減しなくてはならない。7年度決算剰余金から返還分を除いた1千500万円を、あん分率引下げに活用したことは妥当だ。収納率において、双葉郡から来られた方は、100%ときめ細かい算定も妥当だ。国保税は中間所得層にも極めて重い負担感がある。低所得者対策は市全体、国県として対応すべきことだ。

令和8年6月定例会で賛否が分かれた議案

議 案			議 員 名	議決結果	尚友会							改革クラブ					志政会		誠心会		無会派				
					大岩常男	山田雅彦	今村裕	細田廣	平田武	太田淳一	田中正	田中京子	鈴木眞正	竹野光雄	小川尚一	渡部一夫	鈴木昌一	岡崎義典	中川庄一	菊地洋一	大場裕朗	表信司	郡俊彦	志賀稔宗	渡部寛一
6月定例会	市長提出	条例	議案第48号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	議	○	○	○	○	○	×	○	○
		予算	議案第52号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	議	○	○	○	○	○	×	○	○
			議案第53号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	議	○	○	○	○	○	×	○	○

○ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 回 可決 否決 継続審査

○ 採決の結果欄の意味はそれぞれ次のとおり □ 賛成 反対 議長 欠席 退席

賛否が分かれた議案

一般質問



今村 裕 議員

郷土の誇り・相馬野
馬追の環境整備急務



問 年々、出場騎馬数が減少しているが、最大の要因は経費がかかり過ぎるところにあると思う。先ずは見解を伺う。

答 出場するには、ご本人の他に中間や馬の借用・輸送、更に馬具、武具を揃える等、様々な経費がかかる。また、馬を飼っている人と借りる人で経費に差が生じる。先ずは、アンケート調査を行いながら実態を把握すると共に、出場手当をどう支援すれば良いか検討していく。

問 今年の売り手ケットは即日完売したが、本陣山を見ると空席もあった。その理由の一つとして、旅行会社等がまとめ買いし、キャンセルが入った後、時間的余裕がない為、再販売が出来なかったからと思うが如何か。

答 令和8年度は、2月9日に販売を開始し、3月19日をキャンセルの期限日としたが、今後は、旅行会社と調整しながら、指定席の有効活用を図っていく。

問 宿泊先の確保もままならないという

話も聞くが、今後の対応策を伺う。

答 市内では、1千500近くの部屋があり、3千人程度が宿泊可能数となっているが、今後、予約の方法を含め、旅館組合の方々と意見交換していく。また、双葉地方を含め、広域的な対応も検討する。

その他の質問

- 1 市内小中学校の校則について
- 2 タブレット端末の利用状況について
- 3 相馬野馬追の事故防止策について



大岩 常男 議員

ごみ集積所は、
適正な管理を



問 ごみ集積所の状況について伺う。

答 集積所管理者からは違反ごみ対応の負担増加が報告され、市は行政区と協議・連携し施設管理、監視カメラ設置、環境衛生推進委員によるごみ出し指導、集積所の配置転換などの対応を進め、違反ごみが減少しない場合、違反ごみの開封調査制度の条例制定を検討する。また、指定ごみ袋の有料化については、ごみ減量、分別促進施策の一つと考える。

問 相馬野馬追祭の入場制限について伺う。

答 入場券の販売枚数が大幅に増加し、自由席エリアに入れなかった観客が通路や斜面部、階段付近にあふれる状態のため安全を優先し、当日券の販売数を制限した。また、相馬野馬追執行委員会のホームページで入場制限について予告しており、次年度は場内の状況を把握し、全体の配置、人の誘導体制を一般社団法人相馬野馬追と協議し、体制をつくる。

その他の質問

- 1 老々介護について
- 2 弓道場改修について
- 3 母子避難所整備について



渡部 一夫 議員

多額の繰越金が生じているように感じて



問 特に、平成23年度から平成28年度にかけての多額の繰越金は、被保険者に過分に課税したことになるが、30キロメートル圏内は国保税が全額減免されていて、すので、実質的な負担はありません。

必要額を申請して初めて国は交付する。返還が生じるというのは当たり前で、間違つて国に要求しているわけだから、その返還金があるからといって余分にお金を集める必要はない。必要額以上に集めた結果が剰余金であり、市民の皆さんに多く負担を強いてきたということであり、ここが重要であると考えていることから市の見解を伺う。

年度から28年度にかけての多額の繰越金は、想定以上の交付となった医療費増嵩分並びに過大交付となった交付金を翌年度以降に返還を予定したものによるもので、被保険者に過分に課税したものではありません。

しかし、30キロメートル圏外の被保険者は課税対象のため、現実的に過大な負担額の増になっていると考える。

また、返還分の話をするが、国が勝手に交付することはない。南相馬市が国に

答 過大な負担額の増というおただしですが、先ほど答弁したとおり、平成23年度から28年度にかけての多額の繰越金については、想定以上の交付となった医療費増嵩分並びに過大交付となった交付金を翌年度以降に返還を予定したものによるもので、被保険者に過分に課税したものではありません。

その他の質問

① 剰余金の処理処分について

② 多額の繰越金について

③ 6月の本算定について



大場 裕朗 議員

市民から寄せられた声を行政に届ける!!



相馬野馬追での放れ馬等による人身事故について

問 被害者補償について伺う。

答 一般社団法人相馬野馬追で加入しているイベント保険で対応している。

雲雀ヶ原祭場での入場制限について

問 当日券が買えない祭場に入場できない観光客が多く居た。観光客数の目標を設定し、それに合わせて祭場内観客席の整備を進めるべきと考えるが見解を伺う。

答 相馬野馬追の保証し、それに合わせて祭場内観客席の整備を進めるべきと考えるが見解を伺う。

全伝承のための財源からも、有料観覧席を増やす検討をする。

ごみの削減に向けて

問 家庭から出る燃えるごみの約4割が生ごみである。市内の生涯学習センターにコンポストを設置し、生ごみ・草木等を集め、堆肥化等に努めるべきと考えるが見解を伺う。

答 児童生徒が生ごみ削減をテーマにした探索学習に取り組めるよう、学校とごみ問題に関する課題意識を共有していく。

ごみ減量対策・資源循環の視点で有意義である。設置場所の確保・衛生管理等をワークショップ等で市民の意見を聞く

問 市内中学校で取り組む、地域課題の解決型学習の中で、ごみ削減をテーマにリサイクル学習を行うべきと考えるが見解を伺う。

答 児童生徒が生ごみ削減をテーマにした探索学習に取り組めるよう、学校とごみ問題に関する課題意識を共有していく。

その他の質問

① 都市計画区域内の用途地域の見直しを

② 飲食店に対する風営法特例措置の要望

③ 一般廃棄物処理基本計画について

一般質問

一般質問



渡部 寛一 議員

公の施設の利用料 免除改正は



2025年3月議会
可決の「ノーマライ
ゼーションを実現す
るための陳情書」に
ついて、実現を急ぐ
べし

市議会で採択され
てから1年3ヶ月が
経過しているのに、
南相馬市に動きがな
いと、強く指摘され
ています。

市民の願いと、そ

れを受け止めた市議
会の意思決定をこの
ままずると引き
延ばすのですか。

問 昨年3月定例議
会本会議で「難病患
者のノーマライゼー
ションを実現するた
めの陳情書」は、全
会一致で採択されて
います。

陳情書は「南相馬
市障がい者の利用に
係る公の施設の使用
料・利用料金の免除
条例」を難病患者に
も拡大していただき
たいとするものでし
た。

市議会で採択され
てから1年3ヶ月が
経過しているのに、
南相馬市に動きがな
いと、強く指摘され
ています。

答 できる限り早く
この条例改正の提案
ができるように準備
を進めています。

問 これは南相馬市
議会の意思でもあり
ます。

その点を踏まえて
進めていただきたい。
難病を理由とする
差別の解消をするた
めにも、速やかに実
行すべきです。

影響や意見等を集約
しており、条例改正
にむけて進めていま
す。

問 既に陳情書が
採択されてから1年
3ヶ月が経っている
んです。あと何力月
かかるのですか。

その他の質問

① 原発事故避難指示区
域の固定資産税評価
額の見直しをすべき



郡 俊彦 議員

無計画性 全国的に 恥ずかしくない？



問 財政計画では、
事業費と財源、事業
実施予定年度等を、
10年、5年、3年
の計画が市民に明ら
かにされるべきでは
ありませんか。

答 令和6年度から、
新年度の「予算主要
事業説明書」をもつ
て当該実施計画を兼
ねるものとしたして
おります。

問 財政計画は、予
算書作成のためのも
の。合併特例法でも
義務づけられており
ます。今年度進める
「後期計画」は、審
議会等でこうした位

置づけを説明、検討
されますか。市長。

答 「新市建設計画」
では、より「詳細か
つ具体的な」内容の
基本計画や実施計
画を新市に委ねると
なっております。

問 それは数字の入
らない金額でいいん
ですか。

答 それを令和6年
度から「主要事業説
明書」として位置づ
けております。

問 話にならない。
ホームページで実施
計画を検索すると

「予算主要事業説明
書」が出てくる。全
国に恥ずかしくない

今年度新しい後期
計画になりますので、
実施計画等について
もよりよい姿にして
まいります。

答 議員の御提言と
して、おただしのよ
うに、よりよいもの
にしなさいというこ
とだと理解いたしま
す。

問 ガラス張りの市政に、
なっていない？

その他の質問

② 保険税取り過ぎた基
金で、今、減税
③ 小高でのeまちタク
シーを参考に



小川 尚一 議員

持続可能な南相馬市の商業と商店街を



については、郊外への

問 市内の大型店（千㎡以上）は、約30店舗くらいで、売上は720億円位と想定される。また、コンビニについては、40店舗ほどで総売上げは凡そ80億円で地元

の課題解決に向けたチャレンジを引き続き支援し、市が果たすべき役割を検討し、関係者と連携し、市街地の活性化と、にぎわいの創出に向けた取組を進めていく。

市としては、地域の課題解決に向けたチャレンジを引き続き支援し、市が果たすべき役割を検討し、関係者と連携し、市街地の活性化と、にぎわいの創出に向けた取組を進めていく。

全体の小売総額は1135億円である。この状況と課題をどう捉えているか伺う。

答 本市の地元商業者と商店街の課題に

してはいけないという認識で、前商工観光部長の答弁もあったが、対応を伺う。

答 財政面や人手の面で、街路灯の管理が難しい状況は市も承知しており、市と商店会、関係団体と連携して具体的な解決策を出し合い協議を進め、その実現に向けた取組を進める。

面では、郊外への大型店の立地で市街地の空洞化や商店会の会員数の減少、ネット通販や電子マネー等デジタル化への対応など、様々抱えていると捉えている。

問 街路灯の維持管理も厳しい状況である。街なかの灯を消

理も厳しい状況である。街なかの灯を消

その他の質問

- 1 南相馬鹿島SA周辺開発に市民の声を
- 2 泉・北泉周辺等整備利活用計画について
- 3 新しいごみ袋が破れやすいことについて



田中 京子 議員

こどもたちの交通安全対策について



自転車の交通ルールが学べる公園の整備について

問 南相馬警察署管内における自転車関与の交通事故は、令和6年は9件、令和7年は17件と8件の増となっている。中高生になって多発しています。幼い頃からしっかり交通ルールを身につけることが大切であると考え

るので、交通ルールを学べる公園を整備する考えについて伺う。

答 令和8年4月の道路交通法改正に

に伴い、16歳以上の自転車利用者に対する罰則規定が強化された。幼い頃からの交通ルールを学ぶ機会

は大切と認識している。

一方で公園の整備については、今後の子どもの安全対策における必要性や市民ニーズの動向などを勘案し、調査研究して参ります。

問 15年を振り返っての放射性物質による健康への影響について伺う。

いて伺う。

その他の質問

- 1 市長との懇談会について
- 2 大壺・太田地区の学校再編について
- 3 特色ある学校づくりについて

問 農産物に対しての影響を伺う。

答 販売用の安全性は確保されている。市では、当面検査を継続する考えです。

一般質問



岡崎 義典 議員

ごみ問題の原因把握 と的確な施策を



問 令和6年度の1人1日当たりのごみ排出量は、福島県が全国ワースト1位。本市は県内13市中ワースト2位。ごみ減量の課題と課題解決の取組について伺う。

答 生ごみの削減がごみ減量の重要な課題。また、燃えるごみの中に紙類やプラスチック製容器包装など、資源化できるといえる。これら課題解決に向けて、プラスチック使用製品廃棄物、使用済み紙お

むつ、剪定枝・草木類、生ごみの資源化を加速させる取組を実施することとし、令和8年度は剪定枝・草木類等の再利用モデル事業の実施を検討している。

問 生ごみ削減のため水切りグッズを配布するのはどうか。

答 より多くの市民に配布できるよう検討するとともに、生ごみ処理容器設置報告金制度を連携させて、家族での水分減量の徹底についてお知らせしたい。

問 クリーン原町センターに持ち込まれ

るごみのうち40%

50%は紙・布類。本市のリサイクル率はかなり低く雑紙はほとんど回収できていない。雑紙のイラストが入った雑紙袋を配布してはどうか。

答 先進自治体における取組状況や効果及び費用面の課題を調査した上で、導入を検討したい。

その他の質問

- 1 相馬野馬追の有事の対応について
- 2 旧避難指示区域内の事業者支援は
- 3 決算と予算編成との連動について



竹野 光雄 議員

熊出沒対応について



問 連日、熊出沒情報が発見され、被害者も出ており職員対応をはじめ、有害鳥獣捕獲隊との連携をどう進めているか伺う。

答 確実な熊の痕跡確認のため、必要に応じて有害鳥獣捕獲隊及び福島県自然保護課の職員とともに現地調査を行った。警察署と連携して巡回パトロールを行うなど、市が中心となり関係機関と連携をしている。

問 役所内各課の連携強化に向けてはどのような対応をして

いるのか伺う。

答 熊の目撃情報があつた際には、捕獲専任員は現地調査を、生活環境課・くらし安全課・各区市民総合サービス課の職員は広報車による注意喚起や防災無線などによる安全確保の業務を担っている状況である。

今後の稲作経営について

問 価格の動向によ

って大きく変動し、物価の状況によっても生産コストに跳ね返り利益率も低くなります。生産者への今後の経営について

の指導体制を伺う。

答 米価や資材物価の動向によって農業経営を取り巻く環境が大きく変化します。JA等と連携しながら栽培などの省力・低コスト技術の導入支援や市の農業経営改善支援相談員による経営状況に応じた助言と情報提供を行うてまいります。

その他の質問

- 1 東日本大震災の伝承について
- 2 二地域居住への取組み拡大に向けて
- 3 リユース品市場拡大について



田中 一正 議員

原ノ町駅通り商店街 空き店舗解消は



問 空き店舗の解消に向け屋台村を導入して来た経過を伺う。

答 平成21年度より、街中の賑わい創出と地域経済の活性化を目的に屋台村やチャレンジショップ、市民市場を設置し、事業者を支援してきた。屋台村は当初複数店舗が営業し、その中から市内空き店舗を活用した新規出店者も出たが、東日本大震災により経営環境の低下、建物の老朽化等の課題から令和2年3月に一

定の役割を果たしたとして事業を終了した。

問 集客力の低下の原因を解っていないが、対策は立てられなかったのか伺う。

答 空き店舗を活用した賑わい作りを応援する補助金や魅力作りを応援する補助金を活用して、商店会や商工会議所等と連携しながら、対応してきた。

問 補助金を出したからと言って立ち直りは期待出来ないと思う。国内では空き店舗解消に成功している先進地もある。

起業型地域おこし協力隊の活用や空き店舗を宿泊施設にした分散型ホテル等、本市にも生かせると思うが見解を伺う。

答 今ある魅力を生かし市民や事業者、地域おこし協力隊等と言った人材と中心市街地の良さを高め、地域に発信して行く。

その他の質問

- 1 部活動の地域展開について
- 2 学習センター所長の専任配置について
- 3 シェアサイクルの導入について



菊地 洋一 議員

農業支援について



問 中東情勢に伴う農業資材等高騰に対する支援について伺う。

答 農業資材価格の高騰は、肥料、農薬、燃油等生産に直接必要な資材にとどまらず、出荷時に使用する段ボール、包装資材等の梱包資材にも及んでいる。

また、農業は市場価格の影響を受けるため、資材価格の上昇分を販売価格へ転嫁することが難しい。市としては、国や県、JAなどの関係機関と連携し、資材

価格の動向把握に努め、生産者の経営安定に向けた支援を検討して行く。

問 農作物への高温対策について伺う。

答 農作物の高温対策については、近年の猛暑や少雨により農作物への影響が深刻化していることから、本市の未来の農業を左右しかねない重要な課題であると認識している。

市としては、県やJAなどの関係機関と連携し、高温耐性品種の導入、栽培技術の活用を指導を進めている。

また、生物刺激剤（バイオステイミュラント）等の新たな技術についても、高温対策の一つの手法として注目しており、今後も情報収集や効果の検証を行い、高温による農作物への影響軽減に取り組んで行く。

その他の質問

- 1 市内企業による廃炉事業参入について
- 2 農業DXについて
- 3 スポーツ施設での喫煙マナーについて

一般質問

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。

問 東ヶ丘公園の現在の整備状況と利活用にについて伺う。

答 東ヶ丘公園は面積 56.7 ha、広場の散策道の他、遊具や管理棟等が整備され年間を通して様々なレクリエーション活動を楽しめる憩いの場である。管理棟の会議室は一般に開放され地域住民のコミュニケーション形成の場として活用、博物館も設置されている他、災害時の広域避難場所、備蓄倉庫や防災東屋、防災トイレも整備され地域の防災



志賀 稔宗 議員

東ヶ丘公園ミズバショウ
群生地の整備を



拠点として重要な役割も担っている。

問 公園内のミズバショウ群生地、遊歩道等の整備で内容の充実を図り更に利活用を促進する考えは。

答 ミズバショウの群生地の整備について管理者の県に確認したところ、多数の地権者の共有地となっており現段階で用地取得が完了しておらずその早期解決・整備は困難な状況にあるとのことだ。

問 以前は地元の有志の方で良好な管理がされていたと聞く。公園内を整備し

て付加価値を高めることは地権者の理解が得られるものと考ええる。整備に向け一歩前進して欲しいと思う。

答 個人の土地に入ることから土地の整理をつける事が一番大事である。早くできるような県と情報を密にして市の方でも対応していきたい。

その他の質問

- ① 学校はいじめに断固たる対応を
- ② すべての子どもが英語を話せるまち
- ③ 芸術・文化の振興によるまちおこし

令和7年度政務活動費精算一覧表

各会派の収支報告書は市議会ホームページで公開しています。次の QR コードを読み取るとご覧いただけます。



(単位：円)

会派名	尚友会	改革クラブ	志政会	誠心会	無会派	無会派	無会派 (公明党南相馬市議員)	無会派	市民クラブ	総合計
会派構成	田中 一正 太田 淳一 細田 武廣 今村 裕 山田 雅彦 大岩 常男	渡部 一夫 小川 尚一 竹野 光雄 鈴木 貞正 田中 京子	岡崎 義典 鈴木 昌一	菊地 洋一 中川 庄一	大場 裕朗	郡 俊彦	志賀 稔宗	渡部 寛一	櫻井 勝延 表 信司 (R6.1.30付 会派解散) ※2 ※3	
収入内訳										
会派への交付額	1,680,000	1,200,000	480,000	480,000	240,000	240,000	240,000	240,000	480,000	5,280,000
預金利子	1,708	1,194	198	0	0	0	209	0	0	3,309
会派の収入合計(A)	1,681,708	1,201,194	480,198	480,000	240,000	240,000	240,209	240,000	480,000	5,283,309
支出内訳										
調査研究費	1,193,695	328,880	81,934	77,135	0	0	67,724	0	0	1,749,368
研修費	0	0	65,600	0	0	0	0	0	0	65,600
広報費	183,400	579,698	140,145	416,692	249,672	262,570	26,200	0	487,491	2,345,868
広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	0	102,981	12,776	0	0	0	27,940	0	0	143,697
資料購入費	0	3,410	90,537	0	0	0	61,168	0	0	155,115
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会派の支出合計(B)	1,377,095	1,014,969	390,992	493,827	249,672	262,570	183,032	0	487,491	4,459,648
収支差引額(A-B)※1	304,613	186,225	89,206	△13,827	△9,672	△22,570	57,177	240,000	△7,491	823,661
市への返還額	304,613	186,225	89,206	0	0	0	57,177	240,000	80,000	957,221

※1 交付額を超える支出(収支差引額)については、各会派の負担となります。

※2 市民クラブは令和8年1月11日付で会派解散のため、以降の返還分80,000円を返納。

※3 無会派 表信司議員は令和8年2月～3月分の政務活動費は申請しませんでした。

常任委員会閉会中調査

総務生活

防災備蓄倉庫及び消防・防災センターの状況調査について

防災備蓄倉庫は、東日本大震災の経験と課題を踏まえ、新たな防災拠点として平成29年12月26日に開所しました。約4,500人

分の水や食料、救援救護活動に必要な資機材等を備蓄し、災害発生時において、万全な体制を構築するための重要な施設です。

消防・防災センターは、消防本部や消防署に併設され、東日本大震災からの教訓を後世に残すため、南相馬市の被害状況・災害対応等の記録などの防災に関する情報を展示しており、学校の授業や南相馬市への視察・観光に訪れた方にも利用されています。



建設経済

宇宙関連産業推進事業の状況調査

市では、新産業の創出・育成を推進するため、関係機関とも連携し取り組んでいます。

将来宇宙輸送システム株式会社

事業内容は、宇宙輸送の実現に向けた技術開発です。市内事業所から136点の部品を依頼し使用され、連携に取り組んでいます。

ASTROX株式会社

事業内容は、2029年までに10トン搭載しても飛翔できるハイブリットエンジン（個体燃料）を使用したバルーンの開発を目指すものです。

LANDINSIGHT株式会社

「農作物の作付面積確認」をデジタル化することで農業者をはじめ市やJAなど農業に係る負担の軽減と業務効率化に寄与すべく取り組んでいます。

建設経済常任委員会

先進地行政視察報告

「空き家等対策」

富山県高岡市（5月13日）

高岡市の住宅政策の方向性は、「持続可能なコンパクトなまちづくり」です。

空き家の状況は、

平成30年に実態調査を実施し、結果は管理されていない空き家の9割が住宅用途で増えており、原因として①人口減少や少子高齢化による住宅需要の低下②老朽化③社会的ニーズの変化により住み継ぎが行われないことが挙げられました。将来の空き家の推定値は、2043年には4軒に1軒と推計されています。

対策事業として①除却補助支援②活用補助支援③空き家お

「オーガニック

ビレッジの取組」

石川県珠洲市（5月14日）

かたづけ支援事業及び危険防止措置支援等が実施されており

令和5年度に「オーガニックビレッジ協議会」を設立し、有機農業産地づくり事業を推進してきましたが、能登半島地震により中止されました。その後令和7年4月28日に「珠洲市オーガニックビレッジ宣言」をし、現在は

食育活動、物流と販売、有機農業セミナーの開催、馬糞堆肥の開発等や市単独で有機農業産地づくり推進事業補助金交付も行っています。

「バイオマスメタン発酵施設の取組」

石川県中能登町（5月15日）

石川県が平成22年度より全国に先駆けて、メタン発酵技術の研究、開発に取組み平成26年度に「メタン活用いしかわモデル」を開発し、安定した発酵反応とガス発生量の増大が確認され、発酵事業を導入しております。



9月の定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			【本会議】 議案の提出・説明ほか			
6	7	8	9	10	11	12
	【本会議】 一般質問	【本会議】 一般質問	【本会議】 一般質問	【本会議】 議案質疑 【委員会】 予算決算	【委員会】【分科会】 総務生活 文教福祉 建設経済	
13	14	15	16	17	18	19
	【委員会】【分科会】 総務生活 文教福祉 建設経済	【委員会】【分科会】 総務生活 文教福祉 建設経済				
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			
	【委員会】 予算決算		【本会議】 委員長報告			

※この日程は変更されることがあります。

本会議は原則午前10時に開会します。議会を傍聴する際には、日程をご確認の上、市役所本庁舎4階までお越しください。

○請願・陳情の提出をされる方へ：9月定例会においては、8月26日（水）午後4時までに提出してください。

議会傍聴記

（原町区／O. Tさん）

議会の傍聴で感じている懸案事項は、事前調査が足りなく切り込みが弱い面があることや更に女性議員が一名しかいないことです。

社会生活の経験豊富な知見を持つ人材や女性の視点を市政に生かした議会運営の活性化が重要です。

南相馬市でも、日本の少子高齢化社会の流れと同様に急速な高齢化が進み、市議会議員の構成もこの影響を受けているようです。

多様性のある市議会運営を維持・推進するためにも、まずは女性参画の機会を増やすことが必須です。

地方自治体議員の女性が少ない要因は、家事労働との両立の難しさや政治は男性が行うものという旧態の考え方、女性候補者を育成するための機会が少ない等の社会環境があります。

南相馬市では現行一名という寂しい現実ですが、国の統計によると全国の市区議会議員の女性割合は20.3%、県内では総議員数327名に比し女性39名（11.9%）という割合です。

南相馬市議会では、せめてこの女性参画の機会を促進する仕組み作り環境整備を進められないかと願ってやみません。

市議会ホームページ・議会インターネット中継をご覧ください

市議会のホームページには、市議会の概要や本会議情報、議員名簿、会議録（本会議）などを掲載していますので、ご覧ください。

また、議会の様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、本会議のインターネット中継を実施しています。インターネット中継では、生中継と録画配信（本会議のおおむね5日後）でご覧いただけます。

右記のQRコードから市議会へアクセスしてみてください。



編集後記

今年の夏も全国的に厳しい暑さとなる見込みで、今号が発行される頃の暑さを思うと溜息が出ます。さて、今期中に発行される議会だよりの編集も、残すところ今回を含め2回となりました。この3年半「市民に伝わる紙面」を目指し、いくつかの改善を図ってきました。具体的には、賛否の分かれた議案のレイアウト変更や次回日程のカレンダー化、一般質問の写真削除や討論の文字サイズの拡大など、読みやすさを優先した見直しです。文字を大きくして見やすくすることと同時に、わかりやすい言葉で伝えることも大切です。しかし、原稿は実際の質疑応答から作成するため、編集だけで伝えるのにも限界があります。議会だよりを編集する委員としても、議員としても市民の皆様にもわかりやすく伝えられるよう励みたいと思います。

岡崎 義典